

1 単元 アイヌ語に親しもう （1年間のまとめ）

2 単元目標 体験活動を通して、地域の良さを知るとともに、地域の人々とのかかわりから、望ましい人間関係を作る力を育てる。

3 目指す子どもの姿

- ① 日常生活や社会に向け、体験などをもとに自分で課題を設定することができる子
- ② 意欲をもって課題を追求し続け、自分の意見を深め、よりよく表現できる子
- ③ 他者のよさを発見したり、自分の成長を自覚し、自分の生き方を考えたりできる子

4 本時の目標

3・4年生 主体的に体験活動に参加し、アイヌ語を学ぶことができる。

5・6年生 主体的な学びを通して、コミュニケーションを図ることができる。

5 本時の展開

	児童の活動	講師○・教師●の活動	留意点・評価
つかむ	○あいさつ 縦割り班班長（3班） ○アイヌ語の歌を歌う。 ○講師の方のお話を聞く。 ○今日の活動を知る	○アイヌ語の歌「大きなくりの木の下で」 「からだのうた」「森のくまさん」 ●「一年間の学習をふりかえる」	・カードの準備 ・歌詞の用意
考える	① じゃんけん・10までの数 ② 春の山菜 ③ 食べ物の名前、食事の挨拶 ④ 調理のしかた ⑤ 食べ物に関わるお話 ⑥ 秋の食べ物 ⑦ 穀物の収穫、道具。杵つき体験 ⑧ 保存のしかた ⑨ 味を表す言い方	○今までの学習のふりかえり ・①～⑨の言葉を思い出す 全員で声を出す	・カードの準備 ・学習した言葉の一覧表 （電子黒板） 【評価】 活動を通して、アイヌ語に興味・関心をもつことができる。
深める	○学習した言葉を使って遊ぶ。	●ビンゴゲーム（時間内で何列できるか続ける） ＊各自ビンゴカードを持って回る。 ＊じゃんけんをし、勝った人がカードの中から自分の好きな言葉を言う。 ＊言われた言葉があれば○をする。	
まとめる 広げる	○学習の振り返り、感想を交流 ○あいさつ 縦割り班班長	●1年間の学習のふりかえり（カードの記入） ●発表交流（班ごと）	【観点】 ・アイヌ文化に対する興味・関心 ・自己の変容、良さ ・次年度への探求的な視点

6 自己評価

①アイヌ語のスキルを高めるのではなく、アイヌ語に興味・関心をもつ

②アイヌ語を学習することで、アイヌ文化に対しての自身の考えを深める。

7 役割分担

講師 メインT： サブT： 記録：